１．科目名（単位数）	人体の構造と機能及び疾病　（2 単位）	３．科目番号	GELA1112 GELA1333 GELA1312
２．授業担当教員	橋本　由利子		
４．授業形態	講義、ディスカッション、ならびに意見発表	５．開講学期	春期／秋期
６．履修条件・他科目との関係			
７．講義概要	この講義は、総合社会科学としての医学の側面についても触れ、生活の質（QOL）を豊かにする保健・医療・福祉・心理のあり方についても学び、福祉専門職者・心理専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。 具体的には、 ●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ●生活習慣病とその予防について、健康増進の正しい方策について理解する。 ●国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要について理解する。 ●リハビリテーションの概要について理解する。		
８．学習目標	１．人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 ２．健康・疾病の捉え方について理解する。 ３．人の身体構造と心身機能について理解する。 ４．疾病や障害の成り立ちおよび回復過程について理解する。 ５．公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。		
９．アサイメント（宿題）及びレポート課題	１．その日に学習したことを整理するために、毎回ワークシートを提出する。 ２．教科書第6章の疾患の中で自分が興味を持ったものについて、その疾患の概要及びなぜその疾患について興味を持ったかについてまとめなさい（1200字くらい）。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】一般社団法人　日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新・社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座　1　医学概論』中央法規		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 １．心身の機能と身体構造を自分の体と日常生活に照らし合わせてできるようになったか。 ２．生活習慣病の理解と予防を考察できるようになったか。 ３．少子高齢社会におけるリハビリテーションを理解し、必要性を説明できるようになったか。 ４．厚労省が推進する高齢者の QOL の基本的な考えを理解できるようになったか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度や学習状況、レポート、期末テスト等を総合して評価する。 授業への参加度 30%、レポート 30%、期末テスト 20%、発表能力 20%		
12. 受講生へのメッセージ	少子高齢社会において、福祉専門職者は、保健・医療専門職者等と連携して地域社会の人々が健康で質の高い豊かな生活を送れるように支援することが求められます。そのためには、健康をむしばみ、生活の質を低下させる病気、特に感染症、生活習慣病・メタボリックシンドローム、高齢者特有の疾患及び精神疾患などの知識を自ら学び取ることが必要です。メディアが報じるニュースの中でも日常的に取り上げられているので、将来の専門職者の立場からの問題を自ら発見し、自ら解決する目で見るようにしましょう。また、ターミナルケアや健康寿命と介護予防の問題にも目を向けられるようになりましょう。		
13. オフィスアワー	初回授業で通知します。質問はメールでも受け付けます。yuhashim@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		

14. 授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第１回	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 人の成長・発達及び老化	事前学習	教科書のライフステージにおける心身の変化と健康問題について読んでくる
		事後学習	ライフステージにおける心身の変化と健康問題についてまとめる
第２回	人体部位の名称と各臓器の構造及び機能	事前学習	人体部位の名称について教科書 pp. 36～46 を読んでくる
		事後学習	人体部位の名称と各臓器の構造及び機能について復習する
第３回	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程： 疾病の発生原因と成立機序	事前学習	教科書 pp. 58～68 を読んでくる
		事後学習	疾病の発生原因と成立機序について復習する
第４回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション: 先天性疾患、小児科疾患、肢体不自由	事前学習	教科書 pp. 196～201 を読んでくる
		事後学習	先天性疾患、小児科疾患、肢体不自由について復習する
第５回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション: 心疾患、呼吸器疾患	事前学習	教科書 pp. 115～121、129～137 を読んでくる
		事後学習	心疾患、呼吸器疾患について復習する
第６回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション: 消化器疾患、口腔疾患	事前学習	教科書 pp. 145～150、177～182 を読んでくる
		事後学習	消化器疾患、口腔疾患について復習する
第７回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション: 内分泌・代謝疾患、腎・泌尿器疾患	事前学習	教科書 pp. 122～128、138～144 を読んでくる
		事後学習	内分泌・代謝疾患、腎・泌尿器疾患について

			復習する
第８回	疾病と障害およびその予防･治療･リハビリテーション:血液・免疫・アレルギー疾患、婦人科・産科疾患	事前学習	教科書 pp. 157～161、184～189 を読んでくる
		事後学習	血液・免疫・アレルギー疾患、婦人科・産科疾患について復習する
第９回	疾病と障害およびその予防･治療･リハビリテーション:感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、ノロウイルス、エイズ、ウイルス性肝炎等）	事前学習	教科書 pp. 92～100 を読んでくる
		事後学習	感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、ノロウイルス、エイズ、ウイルス性肝炎等）について復習する
第１０回	疾病と障害およびその予防･治療･リハビリテーション:脳血管疾患、認知症、高次脳機能障害、精神疾患	事前学習	教科書 pp. 101～114、190～195 を読んでくる
		事後学習	脳血管疾患、認知症、高次脳機能障害、精神疾患について復習する
第１１回	疾病と障害およびその予防･治療･リハビリテーション:神経難病、骨・関節の疾患、悪性腫瘍と緩和ケア	事前学習	教科書 pp. 104～107、151～156、213～218 を読んでくる
		事後学習	神経難病、骨・関節の疾患、悪性腫瘍と緩和ケアについて復習する
第１２回	疾病と障害およびその予防･治療･リハビリテーション:課題研究の発表会	事前学習	今まで学習したことを振り返り、発表の準備をする
		事後学習	発表した疾患について、予防・治療・リハビリテーションの観点から考察する
第１３回	健康と疾病の概念、国際生活機能分類（ICF）についてリハビリテーションの概要と範囲	事前学習	教科書 pp. 104～107、151～156、213～218 を読んでくる
		事後学習	国際生活機能分類（ICF）リハビリテーションの概念について復習する
第１４回	公衆衛生の概要と健康増進・保健医療対策	事前学習	教科書 p220～231 を読んでくる
		事後学習	公衆衛生の考え方と母子保健対策、成人保健対策、高齢者保健対策、精神保健対策、感染症対策、難病対策について復習する
第１５回	総合まとめ	事前学習	これまで学習したことを振り返り期末試験用の予備問題を作成する
		事後学習	期末試験の予備問題を解く
期末試験			